

農業委員会だより

第84号
令和2(2020)年
1月1日発行
〈編集・発行〉
大田原市農業委員会
大田原市本町1-4-1
TEL.0287-23-8716

E-mail/nougyou@city.ohatawara.tochigi.jp



大田原市農業委員会 会長 荒井 一夫

新年のごあいさつ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
日頃より、農業委員会活動に対しまして、深いご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、春先の好天による田植期の水不足、その後の降雨と晴天、夏の猛暑、秋口には台風による大雨と河川の氾濫や家屋の浸水、土砂災害等、多難な年となりました。

一方、本市では新庁舎での業務開始、さらには新元号となり、平成から令和へと、人々が一段と飛躍する年でもありました。

さて本年は、昨年来のEUとの経済連携協定や環太平洋連携協定の発効により、農業分野において多大な影響が予想されます。

世界的な異常気象の中、農作物への対応も、天候や気温に注意して生産する対応が必要となってまいります。

折しも、今年が平成28年4月1日施行された改正農業委員会法により、令和2年7月19日で農業委員、農地利用最適化

推進委員とも任期満了となる為、2回目の改選期を迎えます。

農業委員17名、農地利用最適化推進委員43名は、与えられた業務の中で、自らの担当地域において、担い手への農地利用の集積、集約化、耕作放棄地の発生防止、解消等の地域における現場活動を行っています。

さらに人・農地プランを利用しながら、集落や地域の状況、実状に合った話し合いに積極的に参加し、多くの皆様方にご協力、ご指導を頂きながら、農地利用の最適化の推進に努力して参る所存であります。

災害のない健やかな一年となる様、祈っております。

最後になりますが、農地のことで何かお困りのことがありましたら、各地域の農業委員や農地利用最適化推進委員に気軽にご相談ください。

本年が皆様にとりまして、幸多い年でありませうと祈念いたしました。年頭のご挨拶とさせていただきます。

うどのちらし寿司

※簡単にできるちらし寿司です。うどのしゃっきりとした食感と香りを楽しんでください。

材料(約2人分)

- ・うど 100g
- ・ごはん 300g
- ・青菜 30g
- ・ポイル小えび 10尾
- ・食用菊(飾り用) 適量
- ・甘酢(下漬け用) 適量
- ・白ごま 適量
- ・すし酢 40ml

作り方

- ① うどの皮をむき、薄い拍子切りにし、すし酢に漬ける。
- ② 青菜を湯がき、水気をしっかりととり、細かく切っておく。
- ③ 食用菊をざっと湯がき、甘酢に漬ける。
- ④ ポイル小えびも甘酢に漬ける。
- ⑤ あたたかいごはん①を混ぜる。
- ⑥ 白ごま・青菜・小えびも入れてざっくり混ぜる。
- ⑦ 器に盛りつけて、食用菊・小えびをきれいに飾る。



農地パトロール(農地利用状況調査)報告

農業委員 相馬和恵

農業委員会では、毎年農地パトロールを委員全員で行っており、今年度は9月2日から6日にかけて、農地利用状況把握のため農地利用最適化推進委員さんと共に大田原市全域を調査してきました。私は、今年度担当した「須賀川地区」について、報告いたします。

「須賀川地区」の現状については、昨年の報告を聞いておりましたので、状況が良くなっていることを願っております。山間地域にあるそれぞれの集落では、ほとんどのみなさんが大切な農地をきちんと管理されていると思います。そこで目にした広大なそば畑。かなりの面積で荒れ果てていた農地が緑色のきれいな土地に変化しておりました。推進委員さんのお話により、と、耕作者が時間をかけて耕し、現在の規模まで増やしていかれたそうです。かなりの労力だったと推測されます。このような



耕作放棄地だった土地が立派な《蕎麦畑》になっていました

案件は多くはありませんが、これからもみなさんとの協力の上、うれしい報告が増えることを農業委員会は望んでいます。

ただ残念ながら、主にイノシシによる被害で無残な姿になった土地も多いのが現状です。現場ではイノシシのこどもにも遭遇しました。これでは田・畑を四方八方電気柵に囲まなくてはいけない状況も納得です。この電気柵にも電気代、工事費用がかなり負担になっており、補助金でも追いつかない状態だと地区担当委員さんも嘆いておりました。耕作放棄地になったから荒らされてしまったのか、動物被害多発のためこのような農地になってしまったのか、その原因は場所によって違いますが、私たちに課せられた重要な問題です。耕作放棄地がこれ以上拡大しないように何としても食い止めなくてはなりません。

人口減少、高齢化、後継者不足などにより、廃農する農家が 증가しています。農地パトロールを実施しても、はたから見ると好立地条件に見える農地が、水利条件が悪かったり、悪土壌であったり、なるほどと言わざる負えないものが見えてきます。地域だけの取り組みでは荷が重すぎると思います。これは、



耕作放棄地で荒れている土地ですが、イノシシにとっては最適な餌場になっています

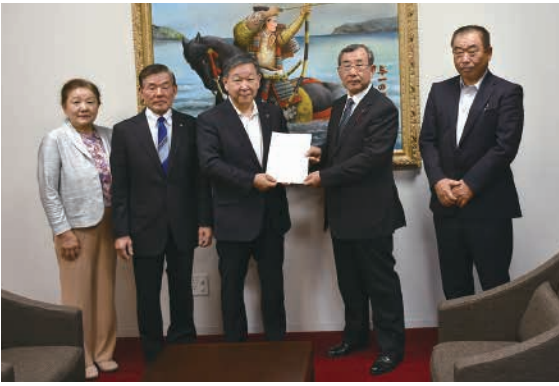
大田原市全体で考えなくてはいけない重要な課題です。みなさん、ご自身の周りをもう一度よく見渡してください。耕作放棄地になる前に、協力しあいながら、早めに対処していきましょう。農業委員会はみなさんの生の声をお待ちしております。

令和2年度農地等利用最適化推進施策の 意見書について

農業委員会では、「令和2年度農地等利用最適化推進施策の意見書」を令和元年10月30日に津久井市長及び市議会の高野議長に提出いたしました。

- 第1 農業関係予算の確保について
- 第2 担い手への支援について
- 第3 鳥獣被害防止対策について
- 第4 市役所内部及び関係機関との連携について
- 第5 6次産業化に向けた取組みについて
- 第6 農家への情報提供のあり方について

※意見書の詳しい内容は、市の回答後にお知らせいたします。



市長室にて



議長室にて

農業者年金で安心豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

○**農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。**

国民年金+農業者年金

○**次の方が加入できます。**

- ① 20歳以上60歳未満の方
- ② 国民年金第1号被保険者
- ③ 年間60日以上農業に従事

○**積立方式だから年金として生涯もらえます。**

80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。

○**保険料はいつでも変更できます。**

月々2万円から6万7千円まで。

○**支払った保険料は全額社会保険料控除の対象。**

所得税や住民税等の節税になります。

○**一定の要件を満たす方は政策支援(保険料の国庫補助)が受けられます。**

(例)青色申告者の認定農業者で35歳未満の人は月額1万円補助)

詳しくは、最寄りのJA窓口または農業委員会事務局へお問い合わせください。



大田原市農業委員会の委員、 農地利用最適化推進委員の推薦・応募を行います

届出受付期間 令和2年2月3日(月)～2月28日(金)

現在の大田原市農業委員会の委員、農地利用最適化推進委員は、令和2(2020)年7月19日に任期満了となりますので、次のとおり募集いたします。

① 農業委員

人員募集 17名

任用期間 令和2年7月20日～令和5年7月19日(3年間)

職務内容 農地の権利移動や転用に係る許認可業務、担い手への農地の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の推進、法人化その他の農業経営の合理化、農業に関する調査及び情報提供等

選考方法 提出された書類をもとに選考し、市長が議会の同意を得た上で任命します。

② 農地利用最適化推進委員

人員募集 43名(地区内に担当区域を設定)

大田原	金田	親園	野崎	佐久山	湯津上	黒羽	川西	両郷	須賀川
3名	8名	4名	2名	5名	6名	4名	3名	5名	3名

任用期間 令和2年7月20日～令和5年7月19日(3年間)

職務内容 担当区域内における担い手への農地の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の推進、及びそれに伴う現地での調査・指導等

選考方法 提出された書類をもとに選考し、農業委員会が委嘱します。

③ 推薦・応募方法(①、②ともに同じ)

- (1) 個人(3人)による推薦
- (2) 団体による推薦
- (3) 自ら応募 の3つの方法があります。

それぞれの届出様式に必要事項をご記入の上、農業委員会事務局へご提出ください。

様式は、農業委員会事務局・湯津上支所・黒羽支所の窓口に備えるほか、ホームページからもダウンロードできます。(https://www.city.ohawara.tochigi.jp/) ※1月6日から



推薦方法・報酬等詳しい内容は、

農業委員会事務局 TEL.0287-23-8716 へお問い合わせください。

農業用軽油免税証交付申請受付のお知らせ

令和2年 軽油免税証交付申請受付 日程表

月 日	時 間		地 区	場 所
	午 前	午 後		
1月27日(月)	9:30 }	13:00 }	湯 津 上	大田原市総合文化会館 1F会議室 (大田原市本町1-3-3)
1月28日(火)			黒 羽	
1月29日(水)			金 田 南	
1月30日(木)			金 田 北	
1月31日(金)			親 園	
2月 3 日(月)			野崎・佐久山	
2月 4 日(火)			大 田 原	

※会場が変更となりました。
お間違えのないよう、お気をつけてください。

※他の地区の指定交付日でも交付は可能ですが、混雑を避けるため、可能な限り地区ごとの指定交付日にお越しください。

必要書類

申請区分	使用者証	印 鑑	報告書	納品書	耕作証明書 (200円)	農作業受委託 証明書(200円)	機械のカタログ、メモ等 (型式馬力が確認できるもの)	交付手数料
継 続	○	○	○	○	○	—	○ 機械に変更があった場合	—
更 新	○	○	○	○	面積が増加 する場合	○ 受委託契約 により交付を 受けている 方のみ		420円
紛 失	—	○	○	○	○		○	420円
新 規	—	○	—	—	○	○	420円	

注意事項

- 新規申請、使用者証紛失、耕作面積変更等により交付数量の変更を希望される方は、事前に農業委員会で耕作証明書の交付を受けてください。(更新時の耕作証明書の添付は不要です。)
- 農作業受委託証明書が必要な方は、受委託契約書を作成の上、農業委員会で証明を受けてください。(混雑が予想されるため、農作業受委託証明願は当日証明できない場合があります。)
- 軽油免税証の交付を2年以上申請していない方は、新規扱いとなります。

〈 お問い合わせ 〉 大田原県税事務所 (☎ 23-4172)

2020年農林業センサスを 実施します

2020年2月1日現在で、全国一斉に「農林業の国勢調査」といわれる「2020年農林業センサス」が実施されます。

この調査は、今後の農林業の政策に役立てるために5年ごとに実施される極めて重要な調査です。

2020年1月から、調査対象世帯である農林業を営んでいる皆様のごとくに、栃木県知事から任命を受けた統計調査員が、調査票を持って伺いますので、ご協力をお願いします。

ご多忙のことは存じますが、調査へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

問い合わせ

政策推進課 統計係 電話(23)1951

読み応え あります 全国農業新聞

- 農業経営に役立つ情報満載
 - くらしに役立つ話題満載
 - 「週刊」の特性を生かした解説記事
 - 月1回は充実した栃木県版記事
 - 毎週金曜日に届きます。
- 気になる方は無料の見本誌を申込み
購読料は月額700円(税込み)

購読のお申し込みは、お近くの農業委員、農地利用最適化推進委員、または農業委員会事務局(23-8716)まで



新コーナー

よろしくお願ひしますか

礒 充倫さん(鹿畑)

大田原市農業委員会では、若い就農者を応援したいとの思いから、今号から素敵な就農者をご紹介します。

第1回目は、父・母・祖父・弟さんとの家族経営の中で、平成29年に就農した『礒 充倫(いそ みつのり)』さんをご紹介します。現在33歳の魅力ある青年は、農家の長男としてだけではなく、自分自身で経営者として進んでいきたいと一念発起し、就農の道を選んだそうです。就農するにあたっては『農家の後継ぎ』と幼少から育てられていたので、楽な気持ちで就農できた、語ってくれました。

以前は一般の会社勤めだったので、どうしても雇われているという型にはまった生活の中で、これからの人生を考えるとこれでは自分自身に納得ができないとの思いから、将来家族で会社組織での経営をしていくことを目標に決心したそうです。そう語っている充倫さんの目はきらきら輝いておりました。お父様は「まだ、息子には農業のノウハウは教えていない。2年目なので、これからじっくりと指導していくつもり。」とおっしゃっております。お母様も隣で優しく見守っている姿がほほえましく思えました。父の背中を見て覚えていくと考えている充倫さん。実際に農業をやってみて嬉しかったことを聞いてみると、道の駅で野菜等を販売していた時に、「あなたの作っているお野菜は、とても新鮮でとっても美味しいから毎回購入しています。」と笑顔でお客様か



礒 充倫さん

ら言われた、その時の感動が忘れられないので、これからも自信をもって店頭に並べられる農作物を作っていくことと強く心に決めたそうです。充倫さん、今後は素敵な家族を増やして、自分の希望に向かって進んでください。そしてこの土地をいつまでも大切に守ってってください。未来の大田原市に、このような若者がたくさん育ってきてくれることを私たち農業委員会は望んでいます。

(農業委員 中山・相馬)

編集後記

令和の時代が始まりました。平和で穏やかな輝かしい未来、すてきな時代になりますよう願ひたいものです。

ここ何年も何かしらの災害がやってきては、私たちが不安に陥れます。今年こそは、皆さまにとりまして、農業都市大田原にとりまして、災害のない良い年になりますよう切に願ひたいものです。

皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。
(編集委員長 中山知代子)

《編集委員長》

中山 知代子

《編集委員》

佐藤 長次
相馬 和恵
越沼 良

農業委員会事務局

☎ 23-8716

皆さまのご意見をお寄せください。